

あなたの作品を、 展示してみませんか？

京都芸術教育コンソーシアム In 洛友 2013 参加者募集！

概要：作品展への出品（9月25日・26日・27日）、ワークショップへの参加
アーティスト・イン・レジデンス事業（希望者は中学校での作品制作が可能）など
※期間中の交通費は後日支給可能（学生ボランティア登録者のみ：一律1050円）

応募資格：京都の芸術系大学、芸術系学部に通う大学生、大学院生
（絵画、彫刻、陶芸、染織、デザイン、漫画、映像、写真、現代アートなどジャンルは自由）

応募方法：担当者へ直接連絡して下さい。担当：村上 淳（洛友中学校教諭）

Tel：(075)821-2196（12:10～20:40）

E-mail：rakuyu-c@edu.city.kyoto.jp

※詳細は洛友中学校 HP にも載せてあります。「京都市立洛友中学校」で検索！

組織：京都市、京都市教育委員会、他

開催：京都市立洛友中学校

※洛友中学校は、不登校を経験したが、それを克服しようとする昼間部の生徒と、様々な理由により学期に義務教育を果たすことができなかった夜間部（二部学級）の生徒が世代や国籍を超えてふれあい学び合う日本に一つしかない学校です。

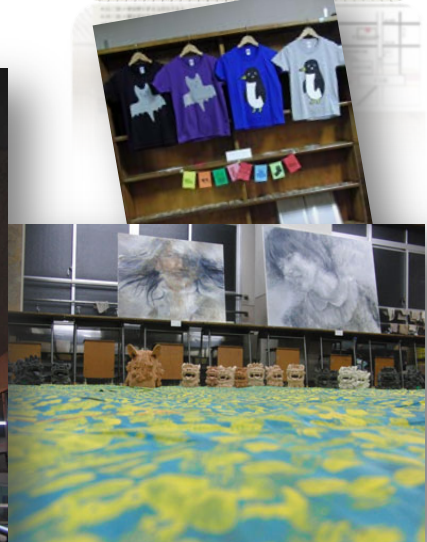
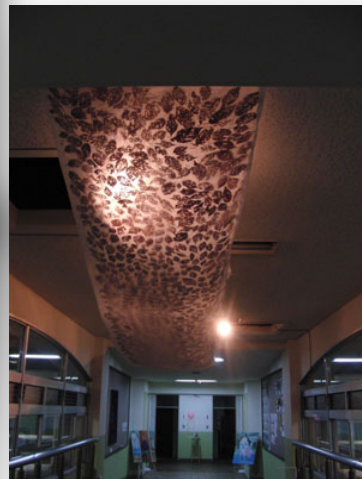


ART-E KYOTO

2012 年度作品展の様子(洛友中学校「学校だより」より)

京都芸術教育コンソーシアム作品展

作品展ではたくさんの作品が展示され、それぞれがとても個性的で、魅力的なものも多くありました。作者はどんな想いでこの作品を作ったのか、何を言わんとしているのかなどを考えながら見ていたのですが、抽象的なものになればなるほど難しいものです。時間があれば、作家と作品についてのお話がしたかったですね。一方、昼間部の授業体験の関係で来校されていた教育委員会の方は、作品展を鑑賞されたあと、1～2階の踊り場に展示してある昼間部の写真を見られて、「この写真は一枚一枚が言いたいことが分かるような気がします」と言っておられました。



一つ一つの作品は、個性をもってそれぞれが表現しています。つまり、その作者が表現しているのですが、今回の作品展は、コンソーシアムの学生の作品を中心に、シーサーやタルなど本校生徒の作品も展示され、その一つ一つが表現力を持つことで、心と心の交流ができたのではないのでしょうか。もちろん、見方や感じ方は一人一人ちがっていいのですが、今後は、それぞれの作品に対する自分の見方や感じ方を、コミュニケーションを通して交流し、個々の見方や価値意識を深めたり広げたりしていきたいと思いました。

